熊本地震による応急仮設団地リノベ案

背景

益城町18団地1562戸
（民地・個人の土地14団地、町有地4団地）
→町有地は元の状態に戻る（exグラウンド）

出典：熊本市HP観光統計

解体費/戸
約100万
⇨
1562戸
約15億6200万円

課題

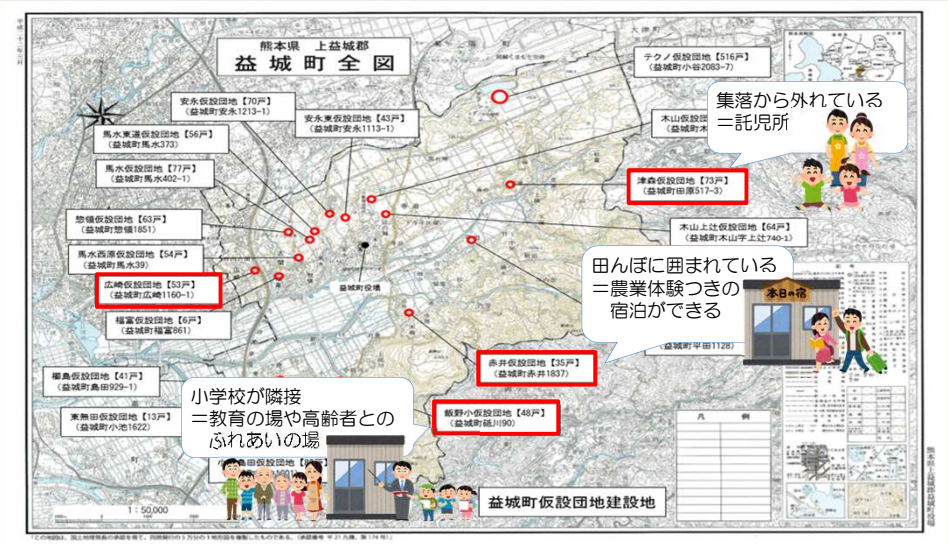
①住民が退去後、応急仮設住宅撤去費用
⇨行政の負担

②震災後、観光客の減少が進んでいる

③益城町における人口減少

提案①

益城町18団地においてそれぞれを周辺の環境を活かした再活用



例.飯野小仮設団地

子ども達との交流

提案②

再活用施設の体験を
ふるさと納税制度における返礼品とする

	件数	金額
2015年	14	1,545,000円
2016年	12077	320,792,686円

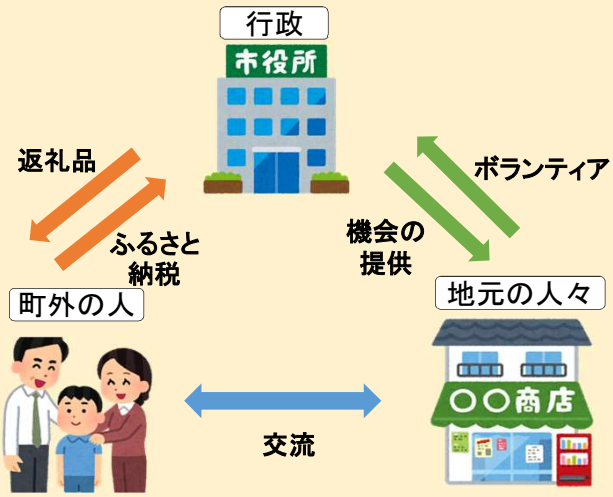
出典：総務省

益城町のふるさと納税

- 農業体験
- 地元の採れたて食材を使った料理の提供
- 益城町で使える商品券

期待される効果

行政、地元の人、納税者の
3つのサイクルを生み出す



記憶の継承
①感謝　②暮らし　③復興の過程